

新農薬の紹介

新規殺虫剤ピラキサルト™の特長

デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社
ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

全国農業協同組合連合会

おお
大
あ
阿

うえ
上
べ
部

めぐ
恵
しん
新
た
太
ろう
郎

はじめに

ピラキサルト™（一般名：トリフルメゾピリム）はデュポン社により創製された新規化合物で、水稻の重要害虫であるウンカ類・ツマグロヨコバイに対して高い活性を有し、水稻栽培地域である中国、ASEAN 諸国、インドおよび日本で開発が進められてきた。国内では、全国農業協同組合連合会とデュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社が共同開発を進め、水稻育苗箱施用としてピラキサルトを0.75%含有する粒剤（試験番号ZDI-2501 粒剤）において、一般社団法人日本植物防疫協会を通じた新農薬実用化試験を2013年から開始した。本剤は2018年9月21日にゼクサロン™箱粒剤として農薬登録を取得した（表-1）。以下に本剤の特長を紹介する。

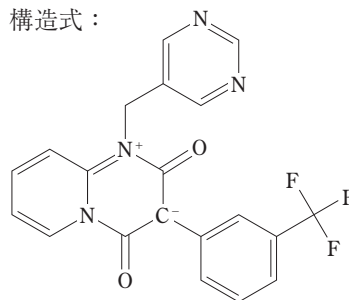
[有効成分の名称およびその性状]

有効成分の通称：ピラキサルト™ (Pyraxalt™)

一般名：トリフルメゾピリム (ISO name : Triflumezopyrim)

化学名 (IUPAC) : 3,4-dihydro-2,4-dioxo-1-(pyrimidin-5-ylmethyl)-3-(α, α, α -trifluoro-*m*-tolyl)-2*H*-pyrido[1,2-*a*]pyrimidin-1-ium-3-ide

構造式：



分子式：C₂₀H₁₃F₃N₄O₂

分子量：398

CAS No. : 1263133-33-0

性状：固体

色調：黄色

臭気：なし

溶解度：0.23 g/l (20℃)

分配係数：Log Pow = 1.24

融点：189.1~189.4℃

[作用機構]

ピラキサルトは、IRAC (Insecticide Resistance Action Committee) により、その独自の作用機構から新サブグループであるグループ4Eのメソイオン系に分類された。

害虫神経系では、通常神経伝達物質アセチルコリンが昆虫神経細胞のシナプス後膜にあるニコチン性アセチル

表-1 ゼクサロン™箱粒剤の適用害虫の範囲および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリフルメゾピリムを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類, ツマグロヨコバイ	育苗箱 (30×60×3 cm, 使用土壌約5 l) 1箱当たり50 g	は種時(覆土前) ~移植当日	1回	育苗箱の上から 均一に散布する	1回
			は種時		育苗箱の床土または 覆土に均一に混和する	

TM : 米国デュポン社またはその関連会社の商標または登録商標。